

マグピタボード® 施工説明書

施工前に必ずこの説明書をお読みいただき、安全かつ正しい施工をしてください。

【施工業者さま】 こちらの用紙を、必ず施主さまへお渡しください。

【お施主さま】 こちらの用紙は、大切に保管しておいてください。

⚠ 安全に関するご注意

- 建築基準法・火災予防条例などの法令に従って施工してください。
- マグピタボード®は環境の変化により伸縮の可能性がありますので、必ず説明書の施工方法に従って、施工してください。
- 必ず標準工法・注意事項に従って施工してください。
- 当製品は屋内でご使用ください。但し、浴室内や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。また、天井用途にはご使用できません。
- 高温多湿となる場所には施工しないでください。(剥がれ・浮きの原因となります。)
- 運搬・施工は2人以上で行ってください。(マグピタボード®がたわむ原因となります。)
- 両面テープ・接着剤は弊社指定の『施工キット』を推奨致します。
- 下地施工は下地材料メーカーが指定する方法に従ってください。
- 家庭用加熱調理機器とマグピタボード®表面は15cm以上離してください。15cm以上離せない場合は、熱により変色や焦げが発生する場合がありますため、防熱板を使用してください。
- マグピタボード®の運搬・作業時には滑り止めの手袋を着用していただき、加工には防塵対策をとって保護マスク・保護メガネを着用のうえ、防塵丸ノコを使用してください。もし、粉塵が皮膚についたり、目、鼻、口に入った場合は速やかに水で十分洗い流してください。異常を感じたら、直ちに医師の手当てを受けてください。
- 接着剤は引火性がありますので、作業場所は火気厳禁としてください。
- マグネットの吸着力はご使用になるマグネットにより異なります。事前にサンプル等でご確認ください。



大阪営業部 〒577-0002 大阪府東大阪市稲田上町1丁目18番11号 TEL.06-6744-0911(代) FAX.06-6746-7500

八尾工場 〒581-0082 大阪府八尾市相生町4丁目7番1号 TEL.072-990-1501(代) FAX.072-990-1502

東京支店 〒136-0071 東京都江東区亀戸4丁目20番1号 TEL.03-5609-7191(代) FAX.03-5609-5304

札幌営業所 〒003-0809 札幌市白石区菊水九条3丁目2番18号 TEL.011-833-5801(代) FAX.011-833-5802

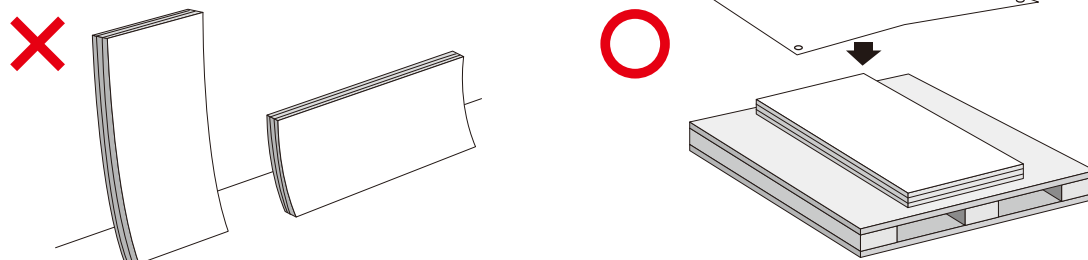
名古屋営業所 〒460-0016 名古屋市中区橘2丁目1番18号 TEL.052-332-2701(代) FAX.052-332-2703

広島営業所 〒733-0003 広島市西区三篠町2丁目11番1号 TEL.082-237-1861(代) FAX.082-237-1348

福岡営業所 〒812-0015 福岡市博多区山王2丁目7番33号山王ビル2号室 TEL.092-432-5635(代) FAX.092-432-5653

在庫・保管について

- 直射日光や雨の当たる場所を避け、風通しの良い屋内に保管してください。
- 平らな場所でパレット等に平積みの上、シートをかけて保護してください。
- 立てかけは反りの原因となりますのでしないでください。



施工前の確認

- 施工前に品番及び、破損・傷等の確認をしてください。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。

下地について

適さない下地

- 湿気を含んだ下地、湿気を帯びる可能性のある下地。
- ALC躯体への直貼りはできません。
- RC壁面への直貼りはできません。
- 塗装面、壁紙面、化粧面への直貼りはできません。

施工可能な下地

- ・ プラスターボード(12.5mm以上)
- ・ ケイカル板(6mm以上)
- ・ モルタル面(不陸でないこと)
- ・ ラワン合板(9mm以上)
- 下地がモルタル板、ケイカル板、合板の場合はマグピタボード®を貼りつける部分の全面にあらかじめシーラーを塗布してください。

下地の調整

- 下地は不陸のないことと、十分に乾燥していることを確認してください。下地に不陸がある場合はパテ等で平滑に仕上げてください。
- 見切材についてはカタログ掲載品を推奨致します。それ以外の部材(H型アルミジョイナー、入隅、出隅)についてはお問合せください。

割付け・プライマー処理

- マグピタボード®は突き付けしないでください。高湿度下で伸びて、突き上げを生じたり、低湿度下で収縮して、隙間を生じる場合があります。平目地部材(H型アルミジョイナー)で納めてください。
- 必要に応じてプライマー処理を施してください。

加工について

コンセントなどの穴あけ

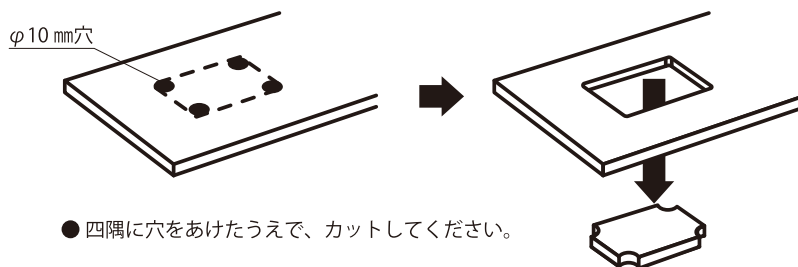
①製品表面からドリルで四隅に穴をあける



②カッター、ノコギリ等でカットする



③カット面を面取りする



切り欠き

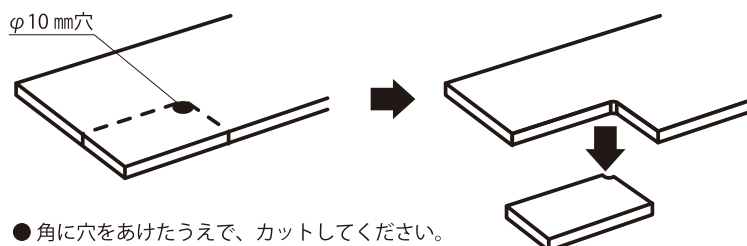
①製品表面からドリルで角に穴をあける



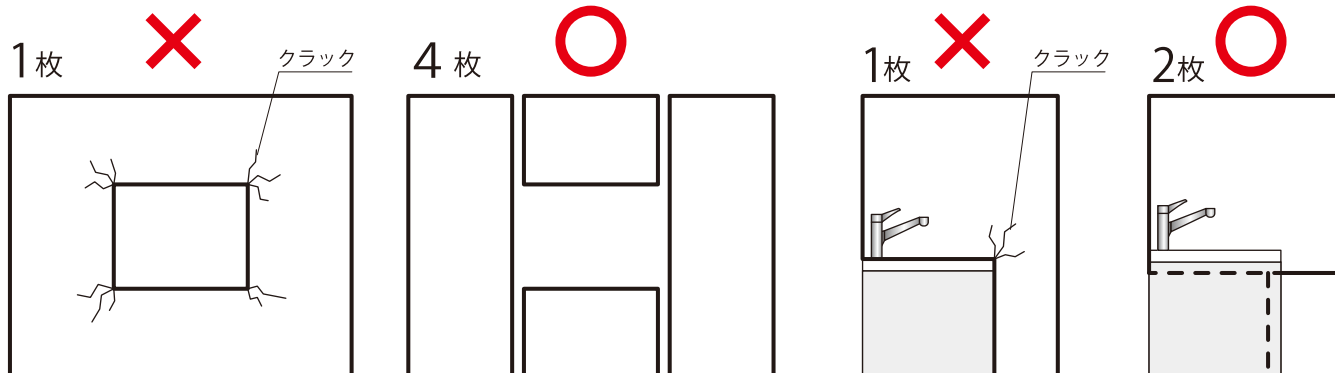
②カッター又はノコギリでカットする



③カット面を面取りする

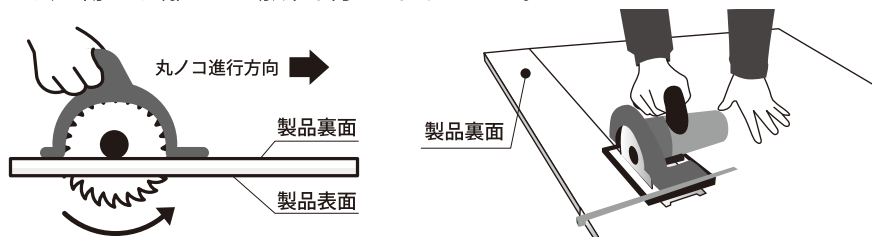


● 切り欠き部が大きい場合や、ピン角でカットした場合、クラックが出る恐れがありますので、複数枚を使用した割り付けとしてください。



⚠ カット加工する場合の注意点

- サンダーを使用しないでください。火の粉が化粧面に飛散し、取れなくなります。
- 表面の保護フィルムは剥がさず、必ず裏面からカットしてください。
- 電動鋸の刃は、鉄・アルミ用ノコ刃をご使用ください。〈山真製鋸(株)板金マスターオールマイティなど〉
※ ダイヤモンドチップのノコ刃は適しません。
- 切断作業は屋外で行ってください。やむを得ず屋内で切断する場合は防塵丸ノコをご使用ください。
- 切断加工は屋外で行ってください。またカット時に切粉等が付着して錆びの原因になる可能性がありますので、できるだけ建物から離れた場所で行ってください。



面取り

- 切断面は鋭利なため、必ずサンドペーパーやヤスリ等で面取りをしてください。
- 錆びにくい鋼板を使用しておりますが、切断面には防錆処理を施すことをお勧め致します。
〈ヤヨイ化学工業(株)ビスター(クリア)など〉

施工方法

- 両面テープ・接着剤は弊社推奨の『施工キット』もしくは、同等品をお使いください。

【施工キット】

接着剤：コニシ株式会社 ボンドKU920（333ml）2本、

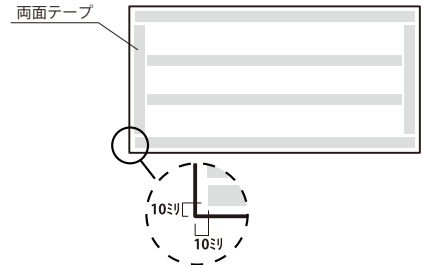
両面テープ：コニシ株式会社 キッチンパネルテープS（10m）2巻き

※3×6板 2枚に1セット、3×8板 1枚に0.75セットが必要です。

※マスキングテープ、コーキングが必要な場合は別途お求めください。

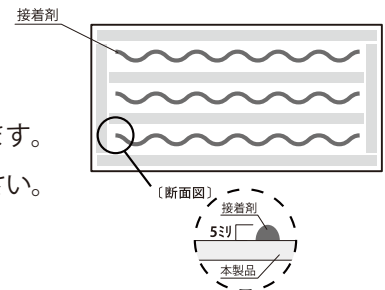
1 テープ貼り付け

- テープを貼る前に乾いたウエス等で裏面の粉をできるだけ除去してください。
- クリアランス10mmをあけて、両面テープを貼りつけてください。
- 両面テープは強く押さえて、密着させてください。



2 接着剤塗布

- 接着剤は高さ5mm程度で塗布してください。
- 専用接着剤・両面テープを使用する場合、環境温度が5℃未満では性能が低下し、ボードの浮き・剥離・脱落につながるおそれがあります。室温を上げ、接着剤、両面テープを5℃以上の環境になじませてから施工してください。



3 貼付け・圧着

【貼付け時の注意点】

- マグピタボード®を取り付ける際、中央に浮きが発生しないように注意してください。
- 貼付けは2人以上で行ってください。
- 両面テープが壁面に接着すると調整ができなくなります。

【圧着時の注意点】

- 両面テープ部分をしっかりと押さえてください。
- 養生時間：室温23℃の場合24h（目安）



※ご使用前に表面の保護フィルムを剥がしてください。

※保護フィルムの糊が本体面に残る場合があるので、使用する前に一度水拭きしてください。

お手入れに関する注意とメンテナンス

- 表面の汚れは柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけて、拭き取ってください。
- タワシ類、メラミンスポンジ及び、漂白剤・強アルカリ・弱酸性洗剤は使用しないでください。

